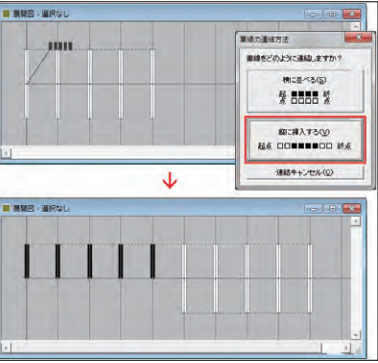


車線連結



展開図上に車線をはめていくように連結して路面ファイルを作成します。（縦方向の連結にも対応）

計画画面

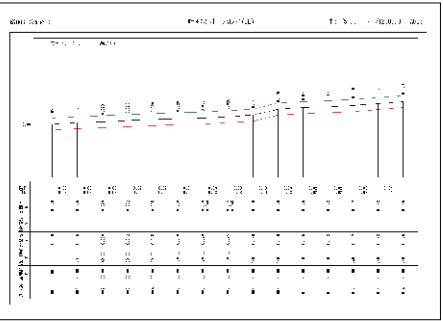


横断・縦断・展開の各Windowを見ながら工事計画の作成が可能。瞬時にボリューム計算を行い、結果に応じて計画を変更することも簡単です。

地盤高の取り込み

任意の1点で地盤高入力すると他点の高さを自動計算します。

複数の計画線が描ける縦断面図



横断面図、展開図、縦断面図の印刷が行えます。また、ボリューム計算表、計画厚一覧表の印刷も行えるほか、ボリューム計算表はCSV出力、図面はCAD出力（DXF）にも対応しています。

LP横断解析ソフト Ver.2 動作環境

パソコン	Windows 10（32ビット版、64ビット版）
	Windows 8.1（32ビット版、64ビット版）
	Windows 7 SP1（32ビット版、64ビット版）
	※Windows RT 8.1には対応しません。
	1GHz以上（推奨）のプロセッサ
印刷装置	1GB以上（推奨）のメモリ
	100MB以上（推奨）の空き容量があるハードディスク
	USBポート（最低1個、推奨2個）（※）
	CD-ROMドライブ
	1024×768ピクセル以上（推奨）の画面解像度
ソフトウェア	Windowsに対応するプリンタまたはプロッタ
	Internet Explorer 11
	.NET Framework 4（ドットネットフレームワーク） （ドットネットフレームワークは環境に応じて解析ソフトと共にインストールされます）

- ※ USBハブ経由での利用については、直接電源を供給するタイプ（セルフパワー）のUSBハブを使用してください。パソコンから間接的に電源を供給するタイプ（バスパワー）ですと、LP横断解析ソフトが正常に動作しない場合があります。
- ※ Windows 10、Windows 8.1、Windows 7、Internet Explorer、.NET Frameworkは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です

製品の仕様およびデザインは改良等のため予告なく変更する場合があります。

⚠ ご注意 ご使用の際は取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

**TOKYO
KEIKI**

東京計器株式会社

通信制御システムカンパニー センサ機器部

本社 TEL.03-3731-2631 FAX.03-3738-8670 〒144-8551 東京都大田区南蒲田2-16-46

大阪営業所 TEL.06-6150-6605 FAX.06-6150-6610 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-7-26

<https://www.tokyoikeiki.jp>

路面横断形状測定・解析・積算装置

レーザ・プロファイラ

L a s e r - P r o f i l e r

LP-2000



NETIS番号：KT-160041-A

**TOKYO
KEIKI**

路面横断形状測定・解析・積算装置LP-2000は、道路舗装修繕前に行う路面計測、工事計画、ボリューム計算、各種帳票、図面を一連の流れで管理ができる次世代型横断路面形状測定機です。従来の道路上での使用に加え、路肩、歩道より計測が行えますので、道路規制をかけずに作業することができます。工事計画作成に関しても解析ソフトを使用することにより大幅な作業時間短縮を実現します。

- 計測範囲は最大13m※
- 直下より0～8m/0.15m～13mの2モード計測。
 - 多くの道路で全幅員を1回で計測可能。

- スピーディ・高精細な計測
- 1測点最大13mを4秒でスピード計測。
 - 10cmの計測ピッチで、詳細に横断面を計測可能。
 - 素早い計測のため、通行する車両等の干渉を受けにくい。

- 歩道・道路際からの計測が可能※
- 計測機を車線上に設置しなくても計測が行えるため、交通事故の危険性が低下し安全作業に貢献。
 - 車線上での計測がなければ、道路規制が不要となり、書類の作成・届出や規制費用が不要に。
 - 交通量の多い現場でも夜間作業の必要がなくなります。

- 実用性の高い解析ソフト
- 従来機LP-200Aのソフト（LP横断解析ソフト Ver.2）を使用してのデータ解析が可能。
 - 解析を行ったデータはCSV出力（ボリューム計算表）、CAD出力（DXF）にも対応。

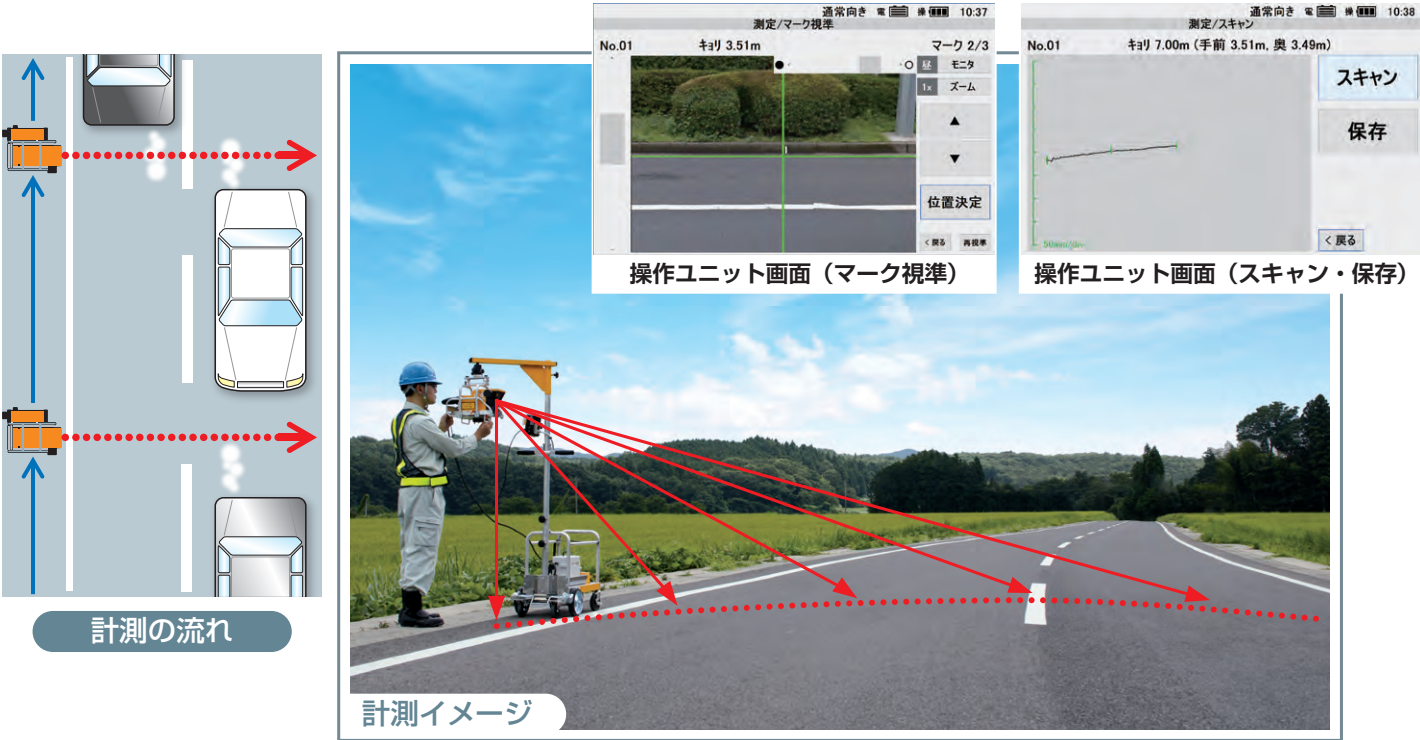
※現場条件によります。

本体仕様			
No.	項目	性能・仕様	備考
1	動作温湿度	0～50℃ 98％RH以下（非結露）	JIS C 60068-2-1, 2
2	保存温湿度	－20～60℃ 98％RH以下（非結露）	JIS C 60068-2-1, 2
3	防滴性能	IPX3	JIS C 0920
4	レーザ	出力：5mW以下（クラス3R） 波長：680nm（赤色）	
5	測定方法	レーザ距離計（非接触）	
6	消費電力	約30W	
7	測定幅員	最大13m	
8	計測高さ精度	±2mm	
9	位置精度	±0.133％以内（距離比）	
10	データ間隔	100mm	
11	計測時間	スキャン：約 4 秒 転送：約 5 秒	計：約 9 秒
12	水準器精度	0.1mm／m	
13	記録方式	操作ユニット（タフパッド）内部 （約5000測点分。但し1車線につき最大400測点まで）	USBメモリによりPCへ転送
14	連続使用時間	最大 2 時間（付属バッテリー） ※外部電源により延長可能	計測ユニット（電源ユニット） 外部電源ケーブル付属
15	充電時間	約 8 時間	電源ユニット
16	連続使用時間	最大 6 時間	操作ユニット（タフパッド）
17	充電時間	約 6 時間	操作ユニット（タフパッド）
18	外形寸法（mm） （質量）	H296×W303×D398（8.7kg） H237×W200×D132（5.0kg） H132×W203×D19（0.5kg） H1740×W550×D655（30kg）	計測ユニット 電源ユニット 操作ユニット 専用台車
19	対応ソフト	LP横断解析ソフトVer 2	



設置・計測方法

道路際よりレーザ光をスキャンさせ、路面より跳ね返ってきた反射光を感知し横断路面形状の計測を行います。台車を使い計測機を道路際に設置できるため、道路規制をかけず計測が行えるようになりました。



LP-2000専用台車

レベル合わせ作業の簡便化

重心位置で吊られた計測ユニットを吊り下げフリー状態でレベルの粗合わせを行い、ロック後に微調整をすることでレベル合わせ作業を簡単にできます。

多様な現場に対応

ポール先のアームで計測機の位置を変えられるので、現場のさまざまなシーンにも対応可能です。

